

「26年1次ステップアップ講座」経営情報システム 訂正のご案内

教材に関して以下の誤りまたは不十分な記述がありました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

■NU26235 26年1次ステップアップ講座 経営情報システム

更新日	訂正箇所	誤	正
26.4.23	P57 検定	<p>検定は、仮説検証の実現のために実施するデータ検証作業です。AとBは等しいことを検証する際には、まず始めに検証したい回答の逆のAとBは異なるという仮説を立てます。この仮説を帰無仮説と呼び、最初に行います。帰無仮説では、事象の否定を証明します。帰無仮説で証明できなければ対立仮説を行います。対立仮説では、事象の肯定を証明します。実際の証明に使う検定技法には、母集団の有無や変数の性質により、用いる種類が異なります。</p> <p>判定は、有意差判定を行います。帰無仮説が偶然に成立してしまう p 値と、帰無仮説を設定したときにその帰無仮説を棄却する基準の確立である有意水準を比較して実施します。p 値が有意水準より小さければ帰無仮説は棄却されます。ただし事実と異なる結果が出てしまうこともあり得るため、そのことについては以下のように表現されます。</p>	<p>検定は、仮説検証の実現のために実施するデータ検証作業です。<u>AとBに差があることを検証する際には、まず始めに検証したい回答の逆の「AとBは等しい」という仮説を立てます。この仮説を帰無仮説と呼び、この検定を行います。帰無仮説が棄却されれば、対立仮説（AとBに差がある）が採択されます。</u>実際の証明に使う検定技法には、母集団の有無や変数の性質により、用いる種類が異なります。</p> <p>判定は、有意差判定を行います。帰無仮説が偶然に成立してしまう p 値と、帰無仮説を設定したときにその帰無仮説を棄却する基準の<u>確率</u>である有意水準を比較して実施します。p 値が有意水準より小さければ帰無仮説は棄却されます。ただし事実と異なる結果が出てしまうこともあり得るため、そのことについては以下のように表現されます。</p>

【LEC 東京リーガルマインド コールセンター】

TEL:0570-064-464 (ナビダイヤル) 平日 9:30~19:30 土・祝 10:00~18:00 日 10:00~18:00